

義興も丸尾居の地取成りしを世嗣にして其身も三
十歳にて隠居し隠居市と稱してまもなく傍者五人の
振舞やまきりたりと云ふ山北由利郡に八郎と小身
成りたるも武勇傑れし人有り我氏彼の八郎を青い
落さる有り時に老臣共味同公を令て由利境彼向の
所を進めしを我氏叔千人を催し先山北由利へ責入る
所まで其日吹浦迄弛向ふ事相違ひたり久軍大將彼
是延引して二日追逼しこれ諸卒不審に思ふ所に物取
た谷羽黒の長束前森筑前守進て出りたるに今度の出
陣催しきたる山北の軍兵何れも存知通り

悪居形を亡え謀事ありし時刻を移さず攻めし二
日たてて尾浦の城へ西へ返り攻め入りて攻戦なり
我氏思ひよりさる可き近き僅の人数にて打出る
前後ゆられ敵となりて攻めしを我氏ももの義氏も
たまりかぬたる小流矢にあたりて落馬し新森園と云ふ
所に終に腹を切り失にたり吉野に今武家家の七
人といふといふ種よ取極み和睦して兵庫に義興を
尾形と作きりし人今又無道にして我氏に異ふは又
義興にも實子なく戦後お村上の城主存庄重長の
次男千鶴丸と市とを義氏に左京大夫義徳と名